

手稲溪仁会病院産婦人科専門研修プログラム

手稲溪仁会病院



産婦人科診療4本柱

周産期医療（産科）

婦人科腫瘍

生殖医療

女性ヘルスケア

診療実績（2024年）

手術件数

1372

分娩数

520

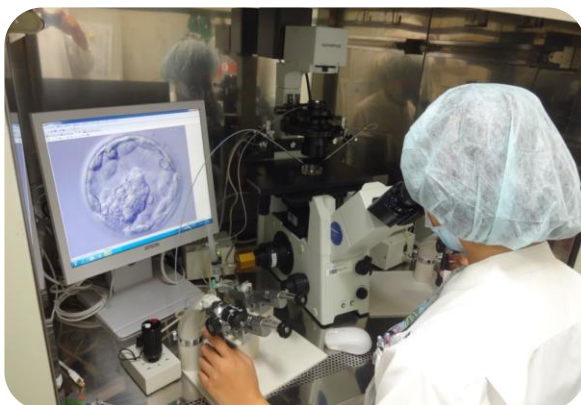
補助生殖医療

445



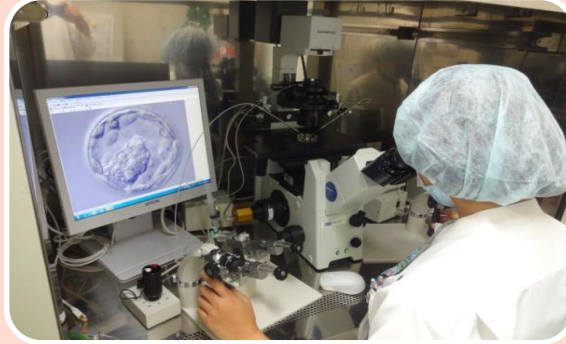
手稲溪仁会病院産婦人科の概要

- 産婦人科医師17名（非常勤医師+2名）
- 婦人科28床、産科30床、NICU6床、GCU6床
- 産科・婦人科・生殖医療まんべんなく診療している。
- 産婦人科救急が多い。





手術



不妊治療



分娩



生命の誕生という喜ばしいイベントに関われます





診断

手術

化学療法

緩和ケア

診断から治療まで、継続して見ていきます

当科の診療の特徴

婦人科

- 腹腔鏡手術・ロボット手術
- がんの集学的治療
- がんゲノム診療
- 婦人科救急
- 補助生殖医療(ART)
- がん生殖医療

産科

- ハイリスク妊娠
- 産科救急
- 出生前診断(NIPTなど)
- 不育症診療



基幹施設（手稲溪仁会病院）勤務

産婦人科メンバー紹介

山田秀人 北大卒43年目	佐藤萌里 東北大卒7年目
和田真一郎 北大卒38年目	大橋萩太郎 札幌医大卒7年目
福士義将 北里大卒35年目	大崎友梨子 札幌医大7年目
釘宮剛城 東邦大卒33年目	中谷宏哉 琉球大卒5年目
太田創 富山医薬大23年目	早川卓治 佐賀大卒5年目
箱山聖子 浜松医大卒23年目	宮崎朋美 九州大卒3年目
網師本健佑 岡山大卒9年目	
小池和生 外科修練中 徳島大卒8年目	
延壽桃子 長崎大卒8年目	
佐藤慎太郎 東北大卒8年目	
小林雄大 順天堂大卒8年目	

専攻医連携施設勤務

西谷友希 北海道大卒5年目	横浜南共済病院
安藤夕乃 筑波大卒5年目	江別市立病院



産婦人科専門研修について

- 基幹病院では、3年のうち6～24ヶ月の研修を行う。
- 1か月以上の政令指定都市以外での地域研修を行う。

基本的に溪仁会2年間、連携施設1年間の研修を考えますが、本人の希望等で柔軟に対処します。

連携施設以外の病院で研修することも可能です。



専門研修の修了要件

経膈分娩100例

帝王切開執刀30例

付属器手術執刀10例

子宮全摘執刀10例

浸潤癌手術に参加5例

腹腔鏡手術に参加15例

体外受精・胚移植に参加5例



例) 当院専攻医 中谷医師の経験数

経膈分娩 42例

帝王切開 執刀23例 助手30例

TLH 5例

腹腔鏡手術 20例

体外受精・胚移植 10例

その後釧路赤十字で研修しさらに臨床経験を積みました

当院の症例で十分修了できる



WIND手稲溪仁会病院産婦人科専門研修プログラム

- 定員は1学年4名



専攻医の勤務スケジュールおよび待遇

	月	火	水	木	金
8:20-8:50	手術症例C	生殖症例C	悪性腫瘍C	周産期C	抄読会
16:00-17:00			手術症例C		
17:00-17:20			説明会		

- 有給休暇は必ず取る
- 当直は月4-5回程度
 - 専攻医1年目の4-9月は上級医と2名当直、10月以降は基本的に単独で当直
- 2か月に1回程度、専攻医は土曜、日曜、祝日の救急外来当番が担当します。
- 当直翌日は原則としてお休みです。
- 学会費用は発表なくとも年間20万円まで病院から支給されます。
 - 国際学会の発表があればさらに10万円が支給されます。
- 産科婦人科学会年会費・専門医取得等の費用は産婦人科の費用から負担



産婦人科のSUBSPECIALITYの研修

内視鏡学会研修施設

周産期・新生児医学会指定研修施設

生殖医学会認定研修施設

女性医学会認定研修施設

産婦人科のsubsPECIALITYの研修にも強い